

孔子を まつる

歴聖大儒像の世界

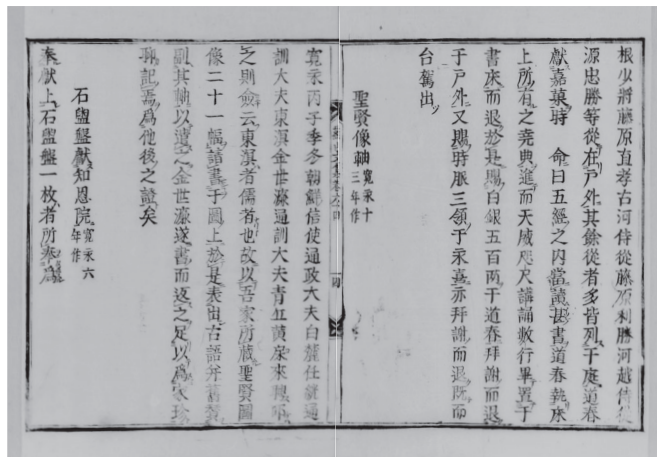
令和四年度筑波大学附属図書館特別展

令和5年(2023)、筑波大学は創基151年、開学50周年を迎えます。今より150年前の明治5年(1872)、東京の湯島聖堂内に師範学校が設立され、筑波大学は、その流れを汲んでいます。

本学には、明治4年(1871)に閉鎖された江戸幕府の教学機関であった昌平坂学問所の所藏品や湯島聖堂所縁の品々が所蔵されています。その中には、湯島聖堂で催された孔子を祀る祭典「積奠」で用いられた美術資料が含まれています。本展では、「積奠」をキーワードに、本学が所蔵する歴聖大儒像6幅をはじめ、東京国立博物館からも孔子像や積奠器などの関連資料を借用し併せて展示いたします。



雲龍時絵尊案 東京国立博物館所蔵



羅山林先生集 筑波大学附属図書館所蔵



関里誌 筑波大学附属図書館所蔵

展示構成

第1章 狩野山雪「歴聖大儒像」

第2章 積奠器

第3章 歴聖大儒像への道

第4章 歴聖大儒像の評価

特別講演会

狩野山雪「歴聖大儒像」の伝来と魅力

講演者

水野裕史 (筑波大学芸術系助教)

シンポジウム

徹底解剖! 狩野山雪「歴聖大儒像」

登壇者

池田和彦 (株式会社修護代表取締役)

山下善也 (神戸大学文学部講師・元京都国立博物館室長)

林聖智 (台湾・中央研究院歴史語言研究所 研究員)

武田祐樹 (東京大学次世代人文学開発センター 特任研究員)

程永超 (東北大学東北アジア研究センター 准教授)

塚本鷹充 (東京大学東洋文化研究所 教授)

山澤学 (筑波大学人文社会系 准教授)

水野裕史